

## 第31回和歌山地方本部 地方委員会開催

### 働きがい、誇りが高まる人財への投資を！！

【定昇実施、ベア・年間臨給満額獲得！！

全組合員の総団結で2024春闘を闘おう！！】

和歌山地方本部は3月2日（土）JR美園ビルにおいて第31回地方委員会を開催し、委員、ご来賓、傍聴者等を合わせて40名が終結しました。

議長には和歌山電車区分会より井藤委員を選出し、進行して頂きました。JR西労組中央本部からは、川端副執行委員長、石田原組織・政治・国際・福祉対策部長、中村業務部長、林組織・業務部次長の4名にお越しいたき、中央本部を代表して川端副執行委員長より「①令和6年能登半島地震について②安全確立に向け、ABC運動の実践、安全お守り手帳を活用し、お客様の死傷事故ゼロ、JR関係労働者の死亡労災ゼロを最優先に取り組んで欲しい。③組織の充実、強化、拡大の取り組みに向け各支部・分会においては引き続き、組合員との対話を重視した分会活動を実施して欲しい。④政治・地方ローカル線課題について、引き続き、JR西労組議員団会議所属議員や自治体と連携して取り組んでいく。⑤2024春闘は厳しい状況下ではあるが、物価高に見合った賃金の上昇、継続したベア獲得、将来のことを考えた人財への投資に向け、最後の最後まで全力で取り組む。」と主要課題に触れたごあいさつをいただき、最後まで大会にご参加いただきました。

和歌山地本執行部を代表して堂脇執行委員長より冒頭、能登半島地震の被害に遭われた方々へのお見舞い、緊急カンパへのご協力への感謝が述べられた後「①安全確立の取り組みについて、今なお一歩間違えれば死亡労災や重大事故につながりかねない危険な事象が発生しており、今一度自分たちが置かれている労働環境や勤務実態に課題はないか見つめ直して欲しい。②2024春闘は会社の経営状況はコロナ前の9割まで回復しているが、資材価格や燃料費の高騰など厳しい状況下での闘いとなっている。本部闘争委員会を後押しすべく組合員の皆様には引き続きの支援をお願いしたい。③ローカル線に関わる政策課題について、コロナ禍を経てローカル線における変革は進んでいる。労働者だけでは課題解決できない問題については自治体や地方議員と協力して取り組みを行う」との挨拶し、委員会への課題提起を行いました。

委員会質疑では、7名の委員から15項目について発言をいただき、ベア・年間臨給の満額獲得、エリア手当等各種手当の増額、組織・業務課題に関する議論が交わされました。厳しい状況は続いています。全組合員が協力し、この難局を乗り越え、2024春闘妥結に向けて最後まで全員参加で取り組んでいきましょう！！



#### 【委員から発言された意見】

東野委員(和泉砂川駅連区分会)春闘勝利に向けた要望 組織改正に関する課題

井上委員(運転部会)2024春闘交渉状況・エリア手当の増額

小川委員(車掌区分会)車内傷害事件に関する防犯対策 エリア手当の増額

坂口委員(和歌山駅連区分会)和歌山駅の現状課題 電気融雪器の新設

除草作業に関する要望

大地委員(工務部会)線路診断システムに関する課題 大保線区に関する課題

吉田委員(営業部会)除草作業に関する要望

早川委員(田辺保線区分会)共済関係 春闘勝利に向けた要望

## 第27回京都駅ビル大階段駆け上がり大会！

2024年2月23日（金）京都駅ビル大階段駆け上がり大会が開催され、和歌山地本より「和歌山ソルティードプラムズ」が参加しました。出場選手は45歳以上枠で紀伊田辺運輸区分会の松岡選手、女性枠で新宮運輸分会の濱口選手、一般で紀伊田辺運輸区分会の高野選手、新宮運輸分会の坂本選手が激走してくれました。4名それぞれが全力で階段を駆け上がり、成績は72チーム中46位、松岡選手は45歳以上枠で5位入賞と大健闘の走りを魅せてくれました。選手の皆様、本当にお疲れ様でした！！

